

# 自主推進目標値とTDKの取り組み

## 自主推進目標値と進捗について

TDKでは1993年に「TDK環境ポランタリープラン」を策定し、環境に関する行動指針を定めました。これをより具体的な活動へと展開するため、自主推進目標値を掲げて個別課題に取り組んでいます。自主推進目標値については、推進課題の進捗状況や内外の情勢変化など、必要に応じて見直しを行っています。2002年3月末現在の自主推進目標値に対する進捗状況は、下記の通りです。

## 2001年度のTDKの取り組み

2001年度は鉛フリーはんだに対応した電子部品の量産化技術の確立、TDK Recording Media Europe S.A.(TRE、ルクセンブルグ)及びTDK Manufacturing Deutschland GmbH(TMD、ドイツ)でのゼロエミッション達成とクローズシステム導入、千曲川第二テクニカルセンターでのコ・ジェネレーションシステムの稼働などの成果を上げることができました。今後も、材料の非鉛化の技術的取り組み、2004年3月までのゼロエミッション達成、省エネルギーの推進強化等を実施し、TDKの地球環境問題への取り組みが循環型社会に貢献できるよう取り組んでいきます。

## TDKグループの自主推進目標値 と実績

推進課題	推進目標値
<b>環境マネジメントシステム構築</b> (ISO14001に沿った環境マネジメントシステム構築を推進する)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2001年12月までに海外工場の認証を取得する。</li> <li>・2001年12月までにサービス子会社の認証を取得する。</li> </ul>
<b>環境配慮型製品の開発</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品への鉛使用を継続的に削減する。</li> <li>・環境負荷の定量的な把握の為、LCAを導入する。</li> </ul>
<b>地球温暖化防止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2010年までに、生産高CO<sub>2</sub>原単位(原油換算)を1990年度比25%以上向上させる。</li> <li>・PFC排出量を2010年までに1995年度比で80%削減する。</li> </ul>
<b>ゼロエミッションの推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3R(廃棄物の削減、再使用、再資源化)の積極的展開</li> <li>・事業所から排出される廃棄物の廃棄を2004年3月までにゼロとする。</li> <li>・事業所から排出される廃棄物の総排出量を2003年までに、1994年度比10%削減する。</li> </ul>
<b>環境負荷物質使用の低減</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩化メチレンを2001年9月までに全廃する。</li> <li>・化学物質の排出量を2005年までに1997年度比で20%削減する。</li> </ul>
<b>グリーン購入</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産用、原材料部材のグリーン購入を推進する。</li> <li>・オフィス用品グリーン購入を拡大する。</li> <li>・鉛フリー製品の積極的購入</li> </ul>
<b>地域貢献</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベントへの参加(緑化活動、清掃活動)</li> </ul>

自主推進目標値の改定は2001年4月

## 自主推進目標値の見直しについて

自主推進目標値について2001年度に見直した内容は、下記の通りです。

### 環境マネジメントシステム

海外の生産拠点及びサービス子会社におけるISO14001認証取得が、目標だった2001年3月において未達でした。そのため、認証取得完了の目標を2001年12月としました。

### 環境配慮型製品の開発

製品アセスメントの定着、はんだの鉛フリー対応が完了したことから、目標より削除しました。

### 環境負荷物質使用の低減

塩化メチレンの全廃を2001年3月に達成できなかったことから、全廃目標を2001年9月としました。

2001年度実績	評価	今後の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2001年12月までに、海外主要生産拠点16事業所で認証取得しました。</li> <li>・2002年2月までにサービス子会社3社(4事業所)の認証取得を完了しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★</li> <li>▲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステムのレベルアップを図る目的で、環境マネジメントシステムの全社統合を検討しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部素材で鉛フリー対応を完了しました。</li> <li>・LCAを各事業部で試行しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➡</li> <li>➡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き鉛フリー素材の開発を促進します。</li> <li>・主力製品についてLCAを導入していきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度比9.8%悪化し、1990年度比13.3%悪化となりました。</li> <li>・前年度比36.1%減で、1995年度比64.7%削減となりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>🔴</li> <li>➡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産工程の効率化、空調の省エネルギーを促進します。</li> <li>・引き続き代替物質の切替を検討します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物を出さない、循環型(クローズドシステム)工程の導入しました。</li> <li>・処理業者委託量を前年度比7,092トン削減しました。</li> <li>・前年度比26.2%削減し、1994年度比30.3%削減となり、目標を達成しました。★</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➡</li> <li>➡</li> <li>★</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環型(クローズドシステム)工程の横展開を図ることで、廃棄物の排出抑制を推進するとともに、止むを得ず排出される廃棄物の100%再資源化を進め、2004年3月までにゼロエミッションを達成します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6事業所で新たに全廃しましたが、3事業所では全廃できませんでした。(44事業所中41事業所で全廃)</li> <li>・前年度比71.0%削減し、1997年度比73.6%削減となり、目標を達成しました。★</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✖</li> <li>★</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2002年9月までに全廃します。</li> <li>・削減目標の見直しを検討します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要取引先企業400社について調査を実施しました。</li> <li>・TDKグリーン購入ガイド(オフィス編)に基づき、購入しています。</li> <li>・取引先企業に対して鉛フリーはんだ対応部品の納入要請を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➡</li> <li>➡</li> <li>➡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規取引先企業の調査を継続して実施します。</li> <li>・継続してオフィス用品のグリーン化を拡大します。</li> <li>・継続して鉛フリー製品の購入を推進します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所で緑化活動、清掃活動等に延べ3,196名参加しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所で引き続き積極的に参加を継続していきます。</li> </ul>